



佐賀県（株）石橋果樹園 『温州みかんを東南アジア・北米へ』

【主な品目】

温州みかん

【主な輸出先国・地域】

香港・ベトナム・カナダ

【輸出取組の概要】

- ◆ 海外旅行好きがきっかけで輸出に興味を持ち、経済成長が著しいベトナムを視察した際に果物市場の大きさと果物消費が多い食文化を実感したことから、輸出への取組を開始。
- ◆ 輸出開始を目指すにあたってASIAGAPを取得し、現在は日系スーパー 2 社へ販売。

【輸出実績】（令和 3 年度より輸出開始）

	輸出量(t)	出荷時期
令和 5 年度	3 7	11～ 3 月
令和 4 年度	4	
令和 3 年度	2	

【効果があつた取組】

実際に現地を訪ね、自身の目で市場調査を行ったことで、市場参入しやすいターゲット国を自ら選定し、輸出開始に結び付けることができた。

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 県内に輸出商社が少なく、取引先を探すのに苦労した。
- 2 船便による輸出では、輸送に時間を要することから、みかんに傷み（腐敗）が発生する。
- 3 個人で輸出をしようとする、輸出先国の残留農薬規制等の情報や、輸出に取り組む上で活用できる補助事業等の情報を得るのが難しい。



（株）石橋果樹園の皆さん

【生じた課題への対応】

- 1 GFPへの登録による情報提供や県庁への相談を通じて紹介された商談会等に参加。
- 2 船便の輸出向けに、貯蔵が効き、日持ちする晩生品種に変更。
- 3 植物防疫所等へ相談し、輸出産地の植物検疫に対応。また、九州みかん輸出拡大協議会に参画し、輸送用コンテナの設定温度等の最適化を実施。



輸出している温州みかん

【対応の結果】

- 1 参加した商談会で県外の輸出商社と繋がり、契約を結ぶことができた。
- 2 輸送中の痛み等による廃棄はあるが、従来と比較した際の腐敗のリスクは軽減できた。
- 3 九州産温州みかんとして出荷を実施することができた。

【今後の課題・展望】

- 1 輸出量の目標を150トと考え、生産量の確保に地元の園地確保と輸出先拡大に台湾や米国を予定。また、更なる輸出先としてEUやマレーシアも検討中である。
- 2 ベトナムの現地農場の視察を終え、今後は、温州みかんの栽培に適した候補地を選定の予定。

【活用した支援・施策】 令和 6 年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業

【ウェブサイト】 <http://fruits-garden.jp/>

【連絡先】 担当者名：代表取締役 石橋健一、T E L：090-3197-0121



現地での販促イベントでPR